

2014 年度第 2 回 東京農工大学職員組合 中央執行委員会 議事要旨

日時：2013 年 11 月 20 日(水) 18 時～20 時

場所：職員組合府中事務室

出席者：野村義宏、岡野一郎、岩岡正博、佐々木一昭、木村園子ドロテア、佐藤慶太、
帖佐直、小林優、多羅尾光徳、平塚信子、吉田和佳奈

1. 報告事項

1) 都大教（多羅尾委員より）

都大教として文科省と交渉を行ったが、給与問題他、明確な答えは得られなかったとの報告があった。又、電通大が年内に訴訟を行う準備があること等、他大学の状況が報告された。

改正労働契約法に関する都大教資料の説明があり、11/27(水)に緊急集会を開くとのことであった。

2) 全大教（岩岡書記長より）

11/3、4 に出席した、全大教関東・都大教共催学習、全大教合同地区別単組代表者会議の報告があった。

学芸大（訴訟予定）、山形大、電通大、山梨大、首都大、横浜市大等、削減問題について他大学の状況報告があった。

50 歳代後半の給与抑制問題については、信州大、大阪大では既に始まっているとのことであった。

3) 小金井支部拡大執行委員会 11/5（岡野副委員長、佐藤委員より）

削減された給与の返還を交渉して欲しい、組合で会計士を雇い、大学の財務分析をしてはどうか等の意見があがった、とのことであった。

財務諸表は過去に遡り公開されているので、検討してはどうか、との意見があった。

4) 府中支部職代会 11/6（岩岡書記長より）

交渉に当たり、喫緊で取り組むべき問題について、職場代表者への説明が行われ、早急に職場会を開き、組合員の意見集約を依頼したことが報告された。

5) 財務部予算説明会 11/11（野村委員長、岩岡書記長より）

本部にて行われた説明会では、資料を基に桑田財務部長から財務状況について説明があったが、改修費用、移転費用の詳細等で、組合側が知りたい内容とは一致しない点が多く、今後同様の依頼をするのであれば、事前に、具体的に内容を連絡しておくべき、との反省点があった。今後は交渉に限らず事前の打合せは必須である、との報告があった。

2. 審議事項

1) 団体交渉について

申し入れ書(案)に沿って、詳細の検討が行われた。各職場会の意見を取り込み、下記の事項について申し入れ書を早急に作成することとなった。

① 退職金の減額について

- ② 給与削減への対応について
→①②とも、削減を行う合理的な理由を示すよう要求する。役員の削減についても意見を求める。
- ③ 55歳を超える職員の昇給抑制について
説明会の開催等今後の対応について示すよう求める。全大教資料を参考に、該当する職員の損失額計算書等の資料を要求する。
- ④ 非常勤職員の待遇改善、改正労働契約法の適用について
- ⑤ 外部資金の間接経費の使途について
- ⑥ 振替休日の取得時期について
- ⑦ 今後の農工大学の長期ビジョン等について

3.その他

1)寄付金の方へのお知らせについて

該当される組合員の方あてに、寄付金のご協力依頼を委員長名でお願いすることとした。

2)コピー機の契約等について

府中、小金井支部ともに、コピー機、印刷機が古くなっており、買い替え等について業者に見積りを依頼し、今後の執行委員会で検討することとした。

3)女性職員昼食会(府中組合事務室にて)

木村委員を中心に、12/5(木)お昼に開催されることとなった。非組合員も含め、12～13名の参加予定であり、多羅尾委員の出席が決まった。

4)消防設備点検

12/11(水)組合事務室に消防設備点検が入ることとなった。

(◆前回の議事録の承認)

◆次回中執 2013年12月18日(水)18:00～ 職員組合府中市事務室